

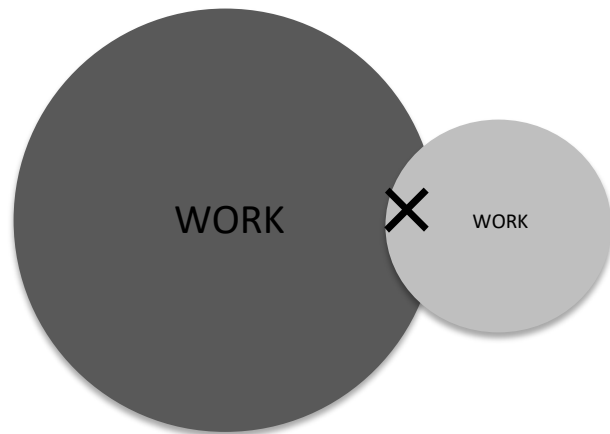
「ちばならでは」の「あたらしいしごとスタイル」



A班

ちばをCo-Workする。

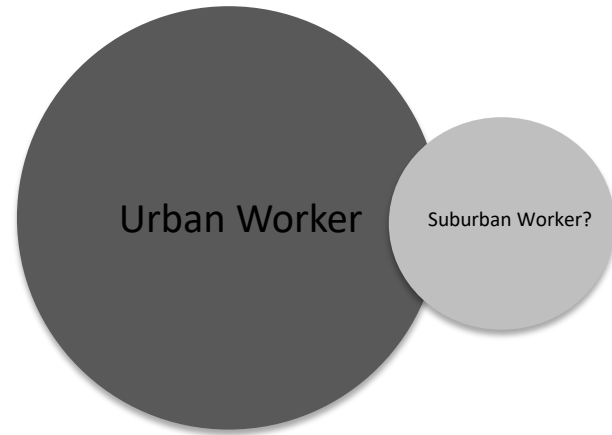
ちばをCo-Workする。



千葉市や都市部ではたらく（3日）



現在の住まいから移動可能な地域ではたらく（2日）



ちばコワーク= Package

(例)

千葉市や都市部ではたらく（3日）

現在の住まいから移動可能な地域ではたらく（2日）

兼業（複業）の働き方をパッケージ化して採用公募（千葉市）
年間の最低収入を保証し、安定した生活が可能（準公務員）
千葉市に資するしごとを軸にノマドワークも可能。
千葉市・協力企業ともに正社員ほどの給与は支給しないものの
最低保証された給与を支給。

主にセカンドキャリアを想定



はたらき方で企業が選ばれる時代。

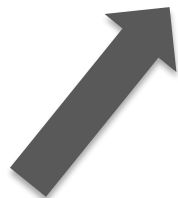
- 小さな枠で働くが一定の責任を有する人材も必要
- 千葉をCo-Work することで安定的な仕事の提供を行う

ICT技術の発達



労働生産性の向上

今の仕事を効率よく行えば
週5→週3にできそうだ



自分の能力でフリーランス
は不安...

どうやって始めたら
良いんだろう...

自分の可能性を広げたい！
&
地方創生に関わりたい！！



**ちばモデルで
チャレンジする**

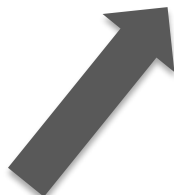
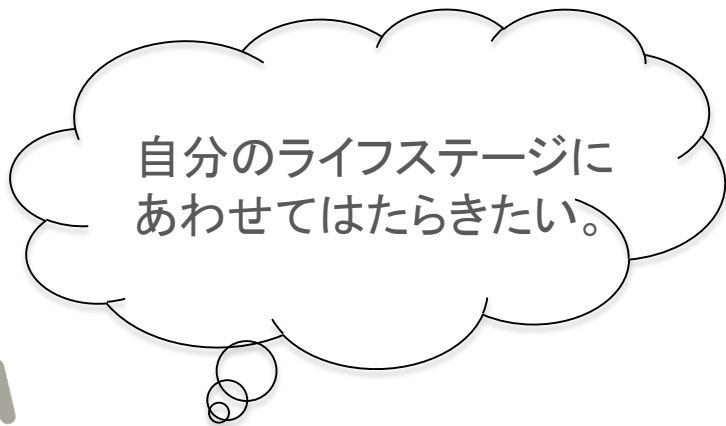
〔 千葉市の雇用はそのまま
地方のニーズも満たしていく 〕



ライフスタイルの多様化 終身雇用神話の崩壊



自分らしくはたらく生き方



自分の能力でフリーランス
は不安...

どうやって始めたら
良いんだろう...

自分の可能性を広げたい！
&
地方創生に関わりたい！！



ちばモデルで チャレンジする

〔 千葉市の雇用はそのまま
地方のニーズも満たしていく 〕

ちばコワーク=
Package
=ちばモデル



モデレーター: 千葉市
協賛: 企業、共創都市圏自治体

協力企業(何社か)

雇用

千葉市(まちサポ)

雇用

月

月

火

火

水

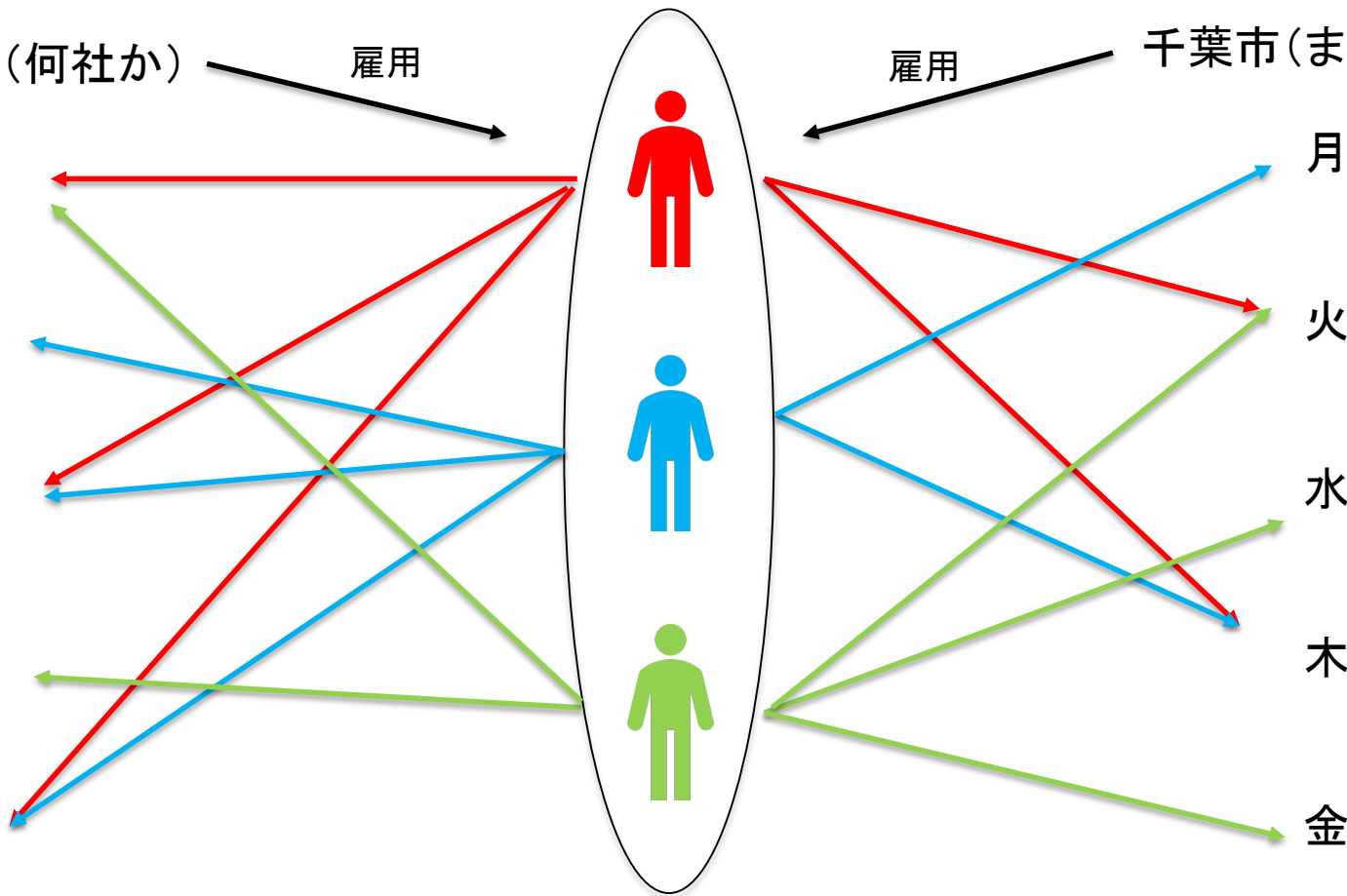
水

木

木

金

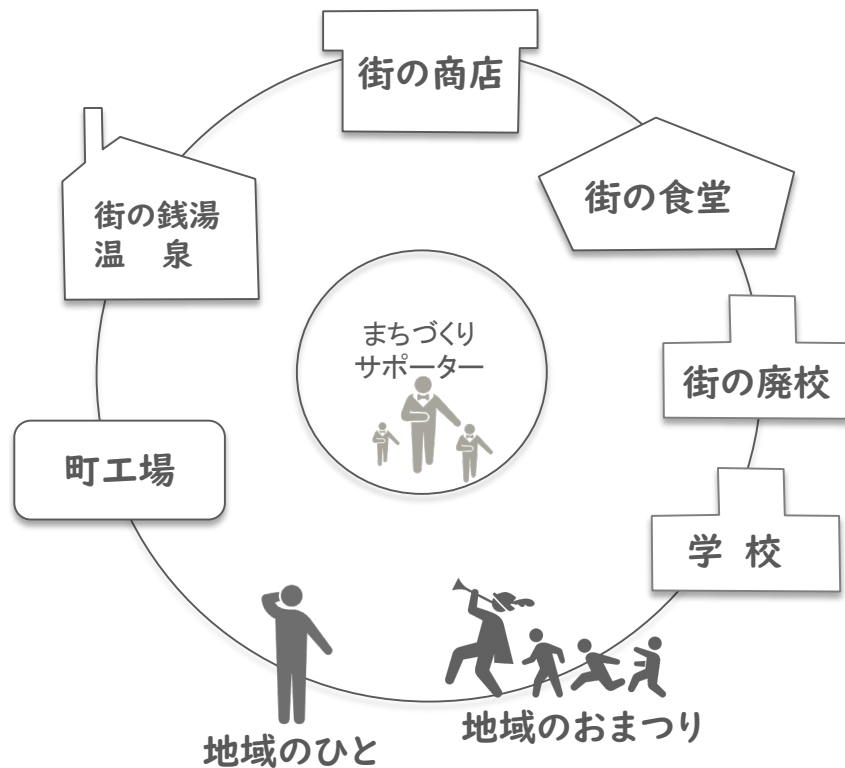
金



まちサポ

まちづくりサポーターのおしごと

毎日でもいいけどちょっとだけでもいいからたくさんの人にまちづくりを助けてほしい。



ちばをCo-Workする

は

小さく始めることもできる

小さく始める

小さく始める（副業として始める）

例えば

「先生」に戻る。

教員免許を取得していながら、教職に就かないひとも多い
（千葉大教育学部の教員就職率は5割以下 2018年度）。

週に1・2回学校の先生として授業をおこなう。

現職の専門性を有しながら、その専門性と教職の専門性との関係性を
千葉市の共創都市圏内で教えることから、千葉市共創都市圏のCo-
Workをはじめてみる。

小さく始める

小さく始める（副業として始める）

例えば

「臨時訪問看護師」に成る。

看護師免許を取得しても独立する看護師は少ないが、訪問看護のニーズの高まりから、独立するものも出てきている。

現職の仕事に基盤を有しながら、その仕事の一部を千葉市の共創都市圏内で訪問看護師としてはじめてみることで、千葉市共創都市圏のCo-Workをはじめてみる。

※独立するきっかけづくりにもなる。お試しCo-Work。

小さく始める

小さく始める（副業として始める）

例えば

「協力隊」となる。自分の得意なこと（職に関する事）、挑戦してみたいことが地方の足りない人材かもしれない。そのニーズを満たしていく。

地方に行かずにできる仕事なら必ずしも毎回現地に行って仕事をしなくても良い。

実際に熱海市では地方の人ではうまく出来なかった広報活動を行う人材を募集し成功した事例も。

小さく始める

小さく始める（副業として始める）

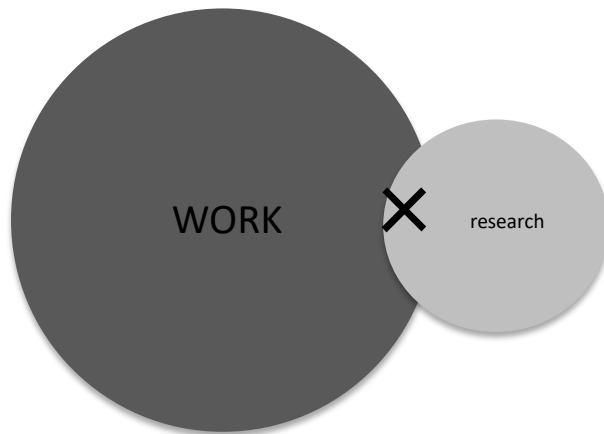
例えば

「いっとき農家」になる。

耕作放棄地の再利用としてまちサポで農家リレーをする。

例えばAが月・水、Bが火・金・日、Cが木・土。

報酬は貢献比率（日数等）で割り振り。千葉市共創都市圏でCo-Workをはじめてみる。

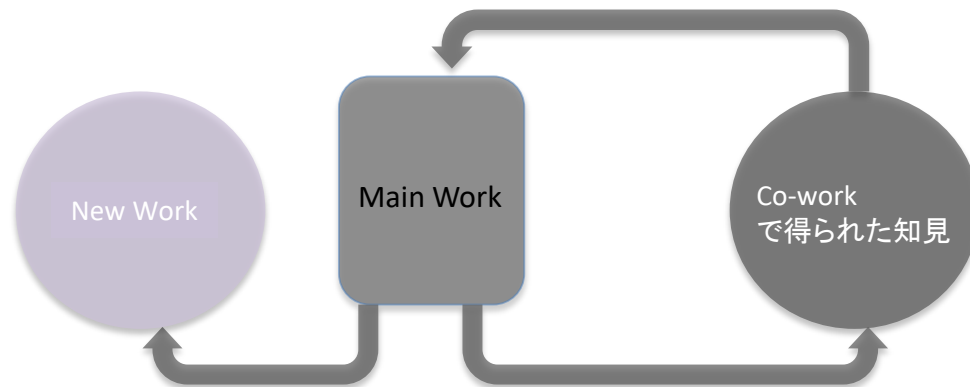


研究しながら働くことを保証する仕組みにも応用。
人材の流動化が高まる時代にフィットする枠組み。

小さく始めて

1ヶ月に1回→1週間に1→1週間に2回、3回？

大きくのばす



新しい視点の導入による新規事業の可能性

ちばコワーク＝

Package =

Society 5.0の時代にも残る人対人の仕事で
ちばの先端を担う人材の育成